

### 第三節 人口の推移

第二次世界大戦中は大量の男子が兵士として戦場に送られ、ある人は敵弾にたおれ、ある人は病に冒されて異郷の土に帰したのも数知れない。戦争中の郷里には男子と老人と子どもだけの寂しさであった。終戦となった。武装解除の兵士、軍需工場徴用の工員たち、それに海外移民の人たちは強制的に郷里に送還された。今までの静寂は急に明るくなった、食糧問題に悩みながらも、一家の主人を迎え、働き手を得た家庭は明るかった。

必然的に人口は増加した、その様子は、第11表の十王村における終戦前後の人口変動表で明らかである。

第11表 十王村人口変動

年度	男	女	計
昭和12年	746	758	1,504
14	735	757	1,492
16	706	729	1,435
17	716	734	1,450
18	711	734	1,445
19	639	883	1,522
20	842	918	1,760
22	851	890	1,741
24	867	838	1,705
26	819	805	1,624
28	851	826	1,677

(十王村事務報告書による)

昭和二十五年の朝鮮動乱以後、日本は戦争経済に支えられて復興し、個人の生活にもゆとりができた。ゆとりを生んだ原因の一つに、家族計画の普及がある。一家の子ども数は二乃至三人が普通となり、以前のように六、七人という例は極めて少なくなった。「少なく産んで丈夫に育てる」、という考えが徹底したものである。

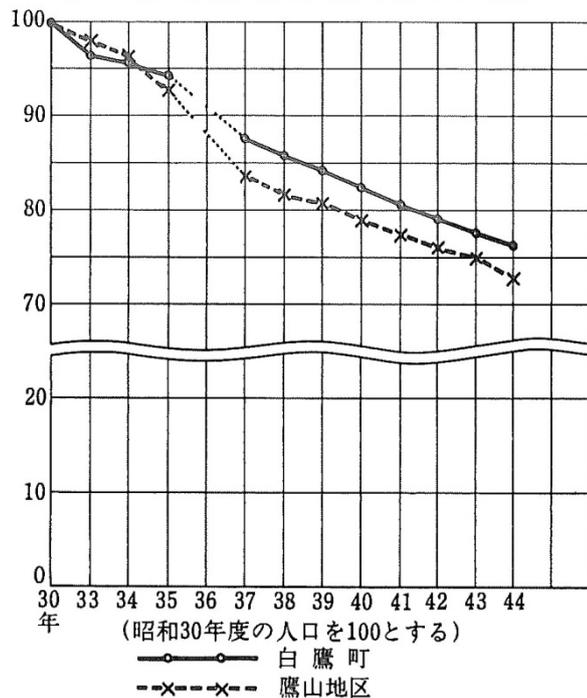
一方、農業の機械化が進んだ。それまで鋤と鎌の農業が、耕耘機農業に変わった。機械の能率は高く、五人分、十人分の仕事をした。機械化により家族農業は長男農業へ移行し、余分になった人手は都市へ都市へと流れ込み

第12表 白鷹町地区別男女別人口推移調

	蚕桑			鮎貝			荒砥			土庄			鷹山			東根			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
昭和30	2,835	2,979	5,814	2,738	2,863	5,601	2,850	3,075	5,925	834	830	1,664	1,622	1,711	3,333	2,414	2,499	4,913	13,293	13,957	27,250
33	2,801	2,920	5,721	2,652	2,788	5,440	2,773	2,972	5,745	792	796	1,588	1,602	1,683	3,285	2,343	2,425	4,768	12,963	13,584	26,547
34	2,765	2,861	5,626	2,628	2,794	5,422	2,754	2,959	5,713	781	784	1,565	1,639	1,573	3,212	2,308	2,385	4,693	12,806	13,425	26,231
35	2,716	2,790	5,506	2,588	2,727	5,315	2,693	2,898	5,591	766	768	1,534	1,526	1,591	3,117	2,276	2,319	4,595	12,565	13,093	25,658
37	2,528	2,610	5,138	2,437	2,566	5,003	2,492	2,734	5,226	727	720	1,447	1,378	1,433	2,811	2,084	2,186	4,270	11,646	12,249	23,895
38	2,493	2,588	5,081	2,401	2,491	4,892	2,478	2,669	5,147	714	700	1,414	1,341	1,409	2,750	2,049	2,117	4,166	11,476	11,974	23,450
39	2,428	2,545	4,973	2,365	2,451	4,816	2,465	2,621	5,086	711	679	1,390	1,325	1,383	2,708	2,019	2,074	4,093	11,272	11,817	23,089
40	2,345	2,436	4,781	2,320	2,419	4,739	2,391	2,625	5,016	671	656	1,327	1,287	1,358	2,645	2,007	2,021	4,028	11,021	11,515	22,536
41	2,287	2,355	4,642	2,256	2,357	4,613	2,329	2,577	4,906	657	626	1,283	1,273	1,315	2,588	1,958	1,964	3,922	10,760	11,194	21,954
42	2,248	2,327	4,575	2,214	2,333	4,547	2,307	2,528	4,835	640	614	1,254	1,255	1,301	2,556	1,930	1,942	3,872	10,594	11,045	21,639
43	2,204	2,265	4,469	2,175	2,266	4,441	2,259	2,494	4,753	616	621	1,237	1,232	1,272	2,504	1,887	1,906	3,793	10,373	10,824	21,197
44	2,191	2,228	4,419	2,112	2,223	4,335	2,228	2,472	4,700	617	614	1,231	1,197	1,238	2,435	1,894	1,889	3,783	10,239	10,664	20,903

(白鷹町) 戸籍統計による。毎年10月現在の人口、(但36年は除く。)

第13表 白鷹町及び鷹山地区人口減少



つまり三十三年の一〇〇人の内から二六人が減った計算になるが、減少の状況をグラフで見ると明らかのように、町全体も、鷹山地区も昭和三十七年から殆ど直線的に減少している(第13表)。

所謂「過疎」の現象を呈し始めた。その実態は、昭和三十三年度を一〇〇とすると、昭和四十四年度は七九弱という数字にあらわれている(第12表)。減少率の一番大きいのが鷹山地区で、約七四となっている、